

令和5（2023）年度博士前期課程（一般選抜・冬期試験）問題 目次

専門試験		ページ	
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	1 - 2
		科学技術社会論	3 - 4
		臨床哲学	5
		中国哲学	-
		インド学・仏教学	6
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	7 - 9
		西洋史学	10 - 11
		人文地理学	-
	文学コース	中国文学	12
		英米文学	-
		ドイツ文学	-
		フランス文学	-
		テキスト環境論	13 - 18
比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	-	
日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学	19 - 20
		日本史学	21 - 28
		考古学	29 - 31
		日本文学・日本語史学	32 - 36
		基盤日本語学	37 - 38
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	39 - 41
	美学・文芸学コース	美学	42 - 43
		文芸学	-
	音楽学・演劇学コース	音楽学	44 - 46
		演劇学	47 - 49
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	50 - 53
		西洋美術史	54 - 56

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース（哲学哲学史受験分野） 筆記試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること
--

I 次の英語文全体を日本語に訳しなさい。

We have been virtually assuming that our hearers and readers all share the same mental background and atmosphere. We have practically supposed that they all look through the same inferential eyes, that their attention waxes and wanes at the same points, that their associations, their halos of memory and circumstance, their congenital tendencies to symbolise or picture, are all on one pattern.

(Victoria Welby, "Meaning and Metaphor", *The Monist*, Vol. 3, No. 4 (pp. 510-525), 1893, p. 512. l. 30-p. 513. l. 1)

II 次の独語文全体を日本語に訳しなさい。（ただし、現代表記に改めている。）

Wir philosophieren – dies ist ein Faktum. Wir fangen also an; wir beginnen mit etwas. Es ist dies *ein Streben* nach einem Wissen von ganz eigener Art, ein Wissen, das sich auf den ganzen Menschen beziehen soll. Also nicht allein auf *das Handeln* des Menschen; denn das Handeln ist gleichsam nur ein Pol des Menschen – sondern auch auf *das Wissen* des Menschen. Es wird dies also *ein Wissen des Wissens* sein müssen.

Dies wäre gleichsam eine Definition von der Philosophie. Aber sie kann, wenn wir anfangen zu philosophieren, nicht als Leitfaden dienen.

(Friedrich Schlegel, *Transzendentalphilosophie*, Felix Meiner Verlag, 1991, S. 3. Z. 1-9.)

(2枚目/2枚中)

Ⅲ 以下の術語の中から、2項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で説明しなさい。

1. アイデア論
2. デカルトの二元論
3. 万人の万人に対する闘い
4. ノエシスとノエマ
5. ラッセルのパラドクス

Ⅳ 機械と人間の関係について論じなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース（科学技術社会論受験分野） 専門試験
[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること
--

I 次の英文を読み、日本語で5行程度で要約しなさい。

‘History,’ said Bury, ‘is a science; no less, and no more.’
Perhaps it is no less; that depends on what you mean by a science. There is a slang usage, like that for which ‘hall’ means a music-hall or ‘pictures’ moving pictures, according to which ‘science’ means natural science. Whether history is a science in that sense of the word, however, need not be asked; for in the tradition of European speech, going back to the time when Latin speakers translated the Greek *ἐπιστήμη* by their own word *scientia*, and continuing unbroken down to the present day, the word ‘science’ means any organized body of knowledge. If that is what the word means Bury is so far incontestably right, that history is a science, nothing less.

But if it is no less, it is certainly more. For anything that is a science at all must be more than merely a science, it must be a science of some special kind. A body of knowledge is never merely organized, it is always organized in some particular way. Some bodies of knowledge, like meteorology, are organized by collecting observations concerned with events of a certain kind which the scientist can watch as they happen, though he cannot produce them at will. Others, like chemistry, are organized not only by observing events as they happen, but by making them happen under strictly controlled conditions. Others again are organized not by observing events at all, but by making certain assumptions and proceeding with the utmost exactitude to argue out their consequences.

History is organized in none of these ways.

(R. G. Collingwood, *The Idea of History*, Oxford University Press, 1980(1946), p. 249, ll. 9-34.)

(2 枚目 / 2 枚中)

II 以下の語句の中から、3項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で解説しなさい。

- 1 サイエンスカフェ
- 2 「二つの文化」 (C. P. スノー)
- 3 トランス・サイエンス
- 4 ELSI
- 5 ポスト・トゥルース

III 科学とジェンダーについて、自らの考えを日本語で論述しなさい。その上で、その要約を5行程度の英文で書きなさい。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース（臨床哲学受験分野） 筆記試験

問題1 臨床哲学には、①現場において潜在的に問題になっていることを学術的にあきらかにしていく、あるいは②学術で育まれた知恵をもちいて特定の現場の実践で活かす、というふたつの方向があります。この①と②のどちらか、または双方を交差させるかを選んだうえで、あなたが臨床哲学において成し遂げたいことについて書いてください。

問題2 添付資料は、反「精神障害」者差別論を唱え、精神医療解体運動をすすめてきた理論家かつ運動家である吉田おさみ書いた個人史の一部である。その末尾にある「キチガイ、非人間を意欲する」とは何を意味するのかについて、あなたの解釈を述べてください。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。出典は次の通りです。

吉田おさみ著『“狂気”からの反撃：精神医療解体運動への視点』（新泉社）1980年、250頁6行目～253頁8行目

問題3 次の「交差性 intersectionality」について書かれた英文を、日本語に訳してください。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。出典は次の通りです。

出典：Patricia Hill Collins, *Intersectionality as critical social theory*, Duke University Press, 2019, p.26, 1.26, 1.26-38.

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 哲学コース （インド学・仏教学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は1枚です。]

語学辞書使用可

1 古代インドの実学文献の研究には、どのような問題や課題があり、その解決方法についてどのように考えるか、できるだけ具体的に論ぜよ。

2 次の項目をできるだけ詳しく解説せよ。

- 1) Atharvaveda
- 2) āśrama
- 3) Jīvaka
- 4) pārājika

3 次の文を正確に和訳せよ。

（出典：『ナラ王物語』）

nīśamyā damayantyās tat karuṇaṃ paridevitam |
yathoktaṃ cakrire devāḥ sāmārthyaṃ liṅgadhāraṇe ||
sāpaśyad vibudhān sarvān asvedān stabdhalocanān |
hṛṣitasragrajuhīnān sthitān asprṣataḥ kṣitim ||

4 次の (a), (b) のどちらかを正確に和訳せよ。

(a) （出典：『アイタレーヤ・ブラーフマナ』）

somo vai rājāmuṣmiml loka āsīt taṃ devās ca ṛṣayaś cābhyadhyāyan katham ayam asmān
somo rājāgacched iti te ’bruvaṃś chandāmsi yūyaṃ na imaṃ somaṃ rājānam āharateti tatheti
te suparṇā bhūtvodapataṃs te yat suparṇā bhūtvodapataṃs tad etat sauparṇam ity
ākhyānavida ācakṣate.

(b) （出典：『テーラ・ガーター』）

Paṇḍitaṃ vata maṃ santaṃ alamattavicintakaṃ
pañca kāmaguṇā loka sammohā pātayiṃsu maṃ. ||
pakkhanno Māravisaye daḥhasallasamappito
asakkhiṃ Maccurājassa ahaṃ pāsā pamuccituṃ. ||
sabbe kāmā pahīnā me, bhavā sabbe padālītā,
vikkhīṇo jātiṣaṃsāro, n’ atthi dāni punabbhavo ’ti. ||

令和 5 (2023) 年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース (東洋史学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は 3 枚です。]
(1 枚目/3 枚中)

[問題用紙は 3 枚です。I～IV について、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

I 論述問題

次の 2 問から 1 問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

1. アジアにおける暦と国家との関係について、具体例を挙げつつ (複数可)、論述しなさい。
2. アジアの垂簾聴政について、具体例を複数取り上げ、これらを比較しつつ論述しなさい。

II 基礎事項問題

次の (a) ～ (e) の事項について知るところを、それぞれ 2 行程度で簡潔に答えなさい。

[問題 I とは別の解答用紙を用いること]

- (a) 活仏 (化身ラマ) (b) 中書省 (c) 『永楽大典』
(d) シャヴァンヌ (Édouard Chavannes) (e) クリム (クリミア) = ハン国 (Crimean Khanate)

(2 枚目/3 枚中)

Ⅲ 英語問題

次の英語の文章をすべて現代日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視し、誤植箇所は訂正のうえ翻訳すること。

<問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです>

【W. Eberhard, *Conquerors and Rulers* (Leiden: Brill, 1965), p. 86, ll. 6-24】

IV 漢文問題

次の漢文は、清代の王鳴盛が著した『十七史商榷』卷 15・漢書・郡不言何屬の一部分である。これを読んで、下の問いに答えなさい。なお、一部の箇所では標点を省略している。

①地理志郡國一百三言所屬者凡七十九不言所屬者凡二十四詳攷之其不言者皆疏漏非有義例也。即如臨淮郡不言何屬而其上文琅邪東海二郡皆云屬徐州。臨淮之屬徐州無疑，而獨不言。②泗水國不言何屬，而其上文楚國，下文廣陵國皆云屬徐州。泗水之屬徐州無疑，而獨不言。九真郡不言何屬，而其上文南海鬱林蒼梧交趾合浦，其下文日南六郡，皆云屬交州。九真之屬交州無疑，而獨不言。

③即此三處推之則其餘郡國之不言者皆疏漏可知。且其所屬有屬冀州，屬兗州，屬青州，屬徐州，屬揚州，屬荊州，屬豫州，屬幽州，屬并州，屬益州，屬交州，屬司隸，而獨無雍州改名之涼州，亦皆疏漏耳。

- 問 1 傍線部①をすべてひらがなで書き下しなさい。
問 2 傍線部②を現代日本語訳しなさい。
問 3 傍線部③をすべてひらがなで書き下しなさい。

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース （西洋史学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目／2枚中）

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝問の記号や番号も記すこと。

設問1. ①と②から1問を選択し、解答しなさい。

- ① 情報と社会の関係について、西洋史上の特定の時代・地域における具体的な事例を取り上げて論じなさい。
- ② 歴史上、1919年が果たした役割について述べなさい。

設問2. ①～⑥の語句のなかから2つを選択し、説明しなさい。

- ① トロイア戦争
- ② ルーシ
- ③ 外交革命
- ④ 功利主義
- ⑤ 公民権運動
- ⑥ トランスナショナル・ヒストリー

設問3. 以下の文章は、Moritz von Brescius, *German Science in the Age of Empire: Enterprise, Opportunity and the Schlagintweit Brothers* (Cambridge: Cambridge University Press, 2018), pp. 4-6 からの抜粋です。文章を読み、以下の問題に答えなさい。

(1) ①の枠内を日本語に訳しなさい。

※Schlagintweit: シュラウーギントヴァイト

(2) 著者によると、この本の内容は従来の研究と異なるといえるのか。

著者の論点を具体的に述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

なお、出典は次の通りです。

Moritz von Brescius, *German Science in the Age of Empire: Enterprise, Opportunity and the Schlagintweit Brothers* (Cambridge: Cambridge University Press, 2018), p. 4, l. 14-p. 6, l.

27.

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース (中国文学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は1頁です。]

- I 次に挙げる二首の韻文作品を読んで、後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

「勅勒歌」
勅勒川。陰山下。天似穹廬。籠蓋四野。
天蒼蒼。野茫茫。風吹草低見牛羊。

「菩薩蠻」
人人盡說江南好。遊人只合江南老。春水碧於天。畫船聽雨眠。
壩邊人似月。皓腕凝霜雪。未老莫還鄉。還鄉須斷腸。

- 問1 「勅勒歌」を日本語に訳せ。
問2 「菩薩蠻」の押韻について、韻字をすべて挙げながら説明せよ。
問3 「菩薩蠻」を日本語に訳せ。
問4 二首を比較しながら、主題や表現形式上の特徴を分析せよ。
問5 二首の作品の文学史的位置づけについて自由に述べよ。

- II 次に挙げるのは蘇軾「文説」の一節である。これを読んで後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

吾文如萬斛泉源、不擇地而出。在平地滔滔汨汨、雖一日千里無難。及其與石山曲折、隨物賦形、而不可知也。所可知者、常行於所當行、常止於不可不止。如是而已矣。其他、雖吾亦不能知也。

- 問1 上の文章を日本語に訳せ。
問2 上の文章は「文学」の理想的な書き方を論じている。それはどのようなものか、説明せよ。
問3 上の文章の書き方は作者の理想に合致しているだろうか。考えを自由に述べよ。
問4 上の文章の文学史的位置づけについて自由に述べよ。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース （テキスト環境論受験分野） 筆記試験
[問題用紙は 6 枚です。]
（1枚目/ 6 枚中）

I 次の英文の括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：James Scaton, *Literary Criticism from Plato to Postmodernism: The Humanistic Alternative*
(Cambridge UP, 2014, p. 73, ll. 1–17)

II 次の英国の詩とその翻訳とを比較し、特に最終連の翻訳にみる改変や工夫について論じなさい。

出典は Lewis Campbell, (ed.), *Poems of Thomas Campbell* (London: Macmillan and Co., 1904), p.79 (l.1-l.26) と

山田美妙編『新体詞選』(香雲書屋, 1886), p.2(l.7)-p.7(l.1)です。なお読みやすくするため、表記を変えたところ

があります。

THE SOLDIER'S DREAM

OUR bugles sang truce—for the night-cloud had lower'd,
And the sentinel stars set their watch in the sky ;
And thousands had sunk on the ground overpower'd
The weary to sleep, and the wounded to die.

When reposing that night on my pallet of straw,
By the wolf-scaring faggot that guarded the slain,—
At the dead of the night a sweet vision I saw,
And thrice ere the morning I dreamt it again.

Methought from the battle-field's dreadful array,
Far, far I had roam'd on a desolate track :
'Twas Autumn,—and sunshine arose on the way
To the home of my fathers, that welcom'd me back.

I flew to the pleasant fields traversed so oft
In life's morning march, when my bosom was young ;
I heard my own mountain-goats bleating aloft,
And knew the sweet strain that the corn-reapers sung.

Then pledged we the wine-cup, and fondly I swore,
From my home and my weeping friends never to part ;
My little ones kiss'd me a thousand times o'er,
And my wife sobb'd aloud in her fulness of heart :—

“ Stay, stay with us,—rest, thou art weary and worn ! ”
And fain was their war-broken soldier to stay ;—
But sorrow return'd with the dawning of morn,
And the voice in my dreaming ear melted away.

1804.

bugle: a musical instrument like a simple trumpet, used especially in the army

truce: a temporary agreement to stop fighting

sentinel: a person employed to guard something

pallet: a small, hard, or temporary bed

faggot: sticks of wood, tied together and used as fuel for a fire

array: a large group of things or people

strain: the sound of a piece of music

fain: pleased or willing under the circumstances

士卒の夢

四面は寒き夜半の風。 篝火さへも清果てて、

寄来る敵の影遠く、 杉の梢に梟の、

友呼代はず声すなり。 時を守れる老兵が、

木陰にひとり太刀剣、 杖となしつつ倚菟り、

音を思続けつつ、 立てる姿ぞ憐れなる。

遠き方にて屍を、 貧喰ふ狼の、

吼ゆる声だに凄じく、 山の端青き月の顔、

殺せし敵の怨霊が、 恨を含む如くにて、

松虫すだく尾花には、 契りし友の招くかや。

ひとりイむ老兵の、 眠れる影ぞ憐れなる。

夢にぞ帰る故郷の
茲も昔は生死の
わが友人が其背を、
松こそ茂れ、蟋蟀の、
胸に溢るる懐旧の

幾重の山路草深く、
海か剣の山間に、
埋めし所尋ぬれば、
後を串ふ声ばかり。
涙を呑むぞ隣なる。

或は歩む野辺の路、
湧きもたつなる峯の雲、
戯狂ふ山羊羊、
ありし昔にかはらねど、
見る物につけ、己をば、

見し撫子の花の露、
清く流るる谷の水、
昇り棚引く薄烟、
変わりはてしは我身ぞと、
啣つ心ぞ隣なる。

家に歸りて、父母に、
思はさしも深緑、
妻子の面もなつかしく、
遂には濡らす袖袂。
慰めかねて老兵の、

さす盃は浅くとも、
待とし聞けばいとど猶、
互に昔話合ひ、
そも理といふばかり、
悩む姿ぞ衰なる。

「我俟すこしく待給へ。
旅の疲憊も嘸かしな。
右左より纏着く
流石に益き老兵も、
裡に聞ゆる喇叭の音、

交上兎をも俱したまへ。
憩給へやしばらく。」と
妻と我子の声聞けば、
床に転ぶと見し夢の
起きてぞ修羅に急ぐらん。

Ⅲ 次の文章は、金井美恵子の小説「フラトシ的恋愛」の一部です。これを讀んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

(5枚目 / 6枚中)

出典 『愛の生活・森のメリエージュ』

(講談社、一九九七年八月、三四二頁二行目～三四四頁二三行目)

問

- (イ) 傍線部①について、どのような点で「奇妙」なのか、述べよ。
- (ロ) 傍線部②について、「わたし」がそのように考えるのはなぜだと思われるか、述べよ。
- (ハ) 小説における〈作者〉と〈作品〉の関係について、本文を踏まえながら、あなたの考えを論述せよ。

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース (現代日本学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

〔Ⅰ〕 日本研究の観点から、「ナラティブ (narrative)」について日本語で論じなさい。

〔Ⅱ〕 次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で日本語で説明しなさい。

- (1) 伊藤仁斎 (2) 『廿世紀之怪物帝国主義』 (3) 『青鞥』 (4) 柳田國男
(5) 沖縄学 (6) 闇市 (7) 「明治百年」問題 (8) 日朝平壤宣言
(9) 家父長制 (10) ポストコロニアリズム (11) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
(12) パブリック・ヒストリー

〔Ⅲ〕 次の4問のうちの1つを選んで日本語で答えなさい。

- (1) 近世日本における朱子学派と古学派の対立点を整理したうえで、思想家の名前を挙げながらそれぞれの特質について論じなさい。
(2) アジア太平洋戦争の「戦災」について、2つ以上の地域を比較しながら論じなさい。
(3) 近現代日本における女性の表現者について具体的事例をあげ、フェミニズム的観点からその人物の活動について論じなさい。
(4) 「歴史修正主義」について、日本を事例に述べなさい。

(2枚目/2枚中)

(IV) 次の文章は、Yoshio Sugimoto, *An Introduction to Japanese Society*, Fourth Edition, (Cambridge University Press, 2014)の一節(210頁 23行目～211頁 13行目)である。本文を読んで以下の問いに日本語で答えなさい。

1. 下線部①に示されている日本における国籍の与えられ方について説明しなさい。
2. 下線部②を翻訳しなさい。
3. 戦後日本における脱植民地化について本文の内容も交えて説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

令和5(2023)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース (日本史学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は8枚です] (1枚目／8枚中)

【注意】設問(I)については、解答用紙は縦長に使い、横書きで解答して下さい。

(I) 外国語問題

次の英文は、Kenneth B. Pyle の著作の一部である。この文章を日本語に訳しなさい。[15点]

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典：Kenneth B. Pyle (1969) ; *The New Generation in Meiji Japan : Problems of Cultural Identity, 1885-1895*, Stanford University Press, Stanford, California, p.3】

* agonies 苦悩

(問題文は次に続く)

(二枚目／八枚中)

【注意】設問(Ⅱ)～(Ⅴ)については、解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(Ⅰ) 次の問いに答えなさい。

〔25点〕

古代・中世・近世・近現代のそれぞれの時代における対外戦争を、つずつ取り上げ、その具体的な経緯と歴史的意義について述べなさい。

(Ⅱ) 次の歴史的な名辞(Ⅰ)～(Ⅳ)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえて説明しなさい。

〔15点〕

(Ⅰ) 恵美押勝の乱

(Ⅱ) 北条政子

(Ⅲ) 老中

(Ⅳ) 足尾鉍毒事件

(問題文は次に続く)

(二枚目／八枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)～(4)のうち、一つを選んで答えなさい。

[30点]

- (1) 次の史料は、山岸徳平・竹内理三・家永三郎・大曾根章介校注『古代政治社会思想』(日本思想大系8、岩波書店、一九七九年)からの引用である。宇多天皇の「寛平御遺誡」の一部を読んで、①～②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【山岸徳平・竹内理三・家永三郎・大曾根章介校注『古代政治社会思想』(日本思想大系8、岩波書店、一九七九年)二九四頁】

- ①全文を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
②文中の「中重」「藏人」「殿上人」の意味をそれぞれ簡潔に述べなさい。

(問題文は次に続く)

(四枚目／八枚中)

- (2) 次の史料は、東京大学史料編纂所編『大日本古記録 後愚昧記』(岩波書店、一九八〇年)二〇四頁からの引用である。「後愚昧記」応安二年(二三六九)七月二十七日条を読んで、①～⑤の問いに答えなさい。なお、「定山(祖禪)」は南禅寺住持である。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【東京大学史料編纂所編『大日本古記録 後愚昧記』一(岩波書店、一九八〇年)二〇四頁】

- ① 傍線 a を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ② 傍線 a の「武家」が何を指すかを具体的に示して、現代語訳しなさい。
- ③ 傍線 b の「此儀」とはどのようなことを指すか、具体的に述べなさい。
- ④ 傍線 c の「天氣」とは何を指すか、説明しなさい。
- ⑤ 傍線 d を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

(問題文は次に続く)

(五枚目／八枚中)

- (3) 次の史料は、中村孝也『新訂 徳川家康文書の研究 下巻之二』(日本学術振興会、一九八〇年)所収のものである。この史料を読んで、①と②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【中村孝也著『新訂 徳川家康文書の研究 下巻之二』(日本学術振興会、一九八〇年)

三二一～三二二頁】

①この史料のうち、第五条から第七条のそれぞれの一つ書きについて、正確に現代語訳しなさい。

②この史料の歴史的意義について、簡潔に述べなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／八枚中)

- (4) 次の史料は、一八八七年に高揚した三大事件建白運動のなかで、片岡健吉等が元老院への提出に向けて作成した「各地建白惣代在京ノ者集合シ上書セントスルノ草案」である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【色川大吉・我部政男監修『明治建白書集成』第八巻（筑摩書房、一九九九年）七二七～七二八頁】

*注 (1) 某…それがし (2) 嘿シテ…黙して (3) 倍徒シ…数倍に増し

- ①傍線 a に関して、本史料の建白者たちが「外交」について求めている内容を、史料の記述に即して正確に述べなさい。
- ②史料中の『 』で括った部分の内容を、史料の記述に即して正確にまとめなさい。
- ③傍線 b は、初期議会における民党の著名な政治的スローガンに繋がっていく。このスローガンを記した上で、それについて知るところを述べなさい。
- ④傍線 c に関連して、明治政府が言論集会の自由を規制するために、帝国議会議開設までに発した法令の名称を二つ記しなさい。

(問題文は次に続く)

(七枚目／八枚中)

(V) 次の設問(1)と(2)のうち、一つを選んで答えなさい。

[15点]

(1) 次の史料の全文を、漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【公益財団法人石水博物館編『重要文化財 佐藤家文書の世界―動乱の時代を生きる―』

(公益財団法人石水博物館、二〇二二年) 五二頁】

(問題文は次に続く)

(八枚目／八枚中)

- (2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立公文書館内閣文庫編『内閣文庫所蔵史籍叢刊第八九巻 雜留(一)』(汲古書院、一九八八年)一五八頁上段】

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース （考古学受験分野） 筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
（1枚目/3枚中）

（以下の設問はすべて日本語で解答すること）

問1 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- （1）枠内①を日本語に訳しなさい。
- （2）枠内②を日本語に訳しなさい。
- （3）下線部③について、知るところを述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Matthew Johnson, 1999, *Archaeological Theory: An Introduction*, Blackwell Publishers. p.141, ll.3-28.

問2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- （1）枠内①を日本語に訳しなさい。
- （2）枠内②を日本語に訳しなさい。
- （3）枠内③を日本語に訳しなさい。
- （4）FIG.1.と類似したグラフが描ける日本の考古資料の事例を一つあげ、その事例を詳しく説明しなさい。

(2枚目 / 3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

James Deetz, 1972, *Death's Head, Cherub, Urn and Willow* (reprinted), Mark Leone (ed.)
Contemporary Archaeology, Southern Illinois University Press. p.402, l.1 - p.403, l.3, FIG.1.

(3枚目 / 3枚中)

問3 弥生時代から古墳時代にかけての暦年代に関する研究の現況について、具体的な遺跡名や方法論などをあげつつ詳しく説明しなさい (800字以上)。

問4 次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

- (1) 喜田貞吉
- (2) AT 火山灰
- (3) Avebury
- (4) 河姆渡遺跡
- (5) 井戸尻遺跡
- (6) 古曽部・芝谷遺跡
- (7) 富雄丸山古墳
- (8) 水城

「問題用紙は五枚です。」

(一 枚目/五枚中)

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(この問題については解答用紙二枚を用い、縦書きにすること)

中興の近江の介がむすめ、物のけにわづらひて、浄蔵大徳を験者にしけるほどに、人とかくいひけり。猶しもはたあらざりけり。しのびてありて、人の物いひなどもうたてあり、なほ世にへしとおもひ言ひて失せにけり。

①鞍馬といふところにこもりていみじう行ひをり。さすがにいと恋しうおぼえけり。京を思ひやりつゝ、よるづのこといとあはれにおぼえて行ひけり。なくくうちふして、かたはら全みければ文なむみえける。なぞの文ぞとおもひてとりてみれば、このわが思ふ人の文なり。悟けることは、

すみぞめのくらまのやまにいる人はたどるくもかへり来ななむ

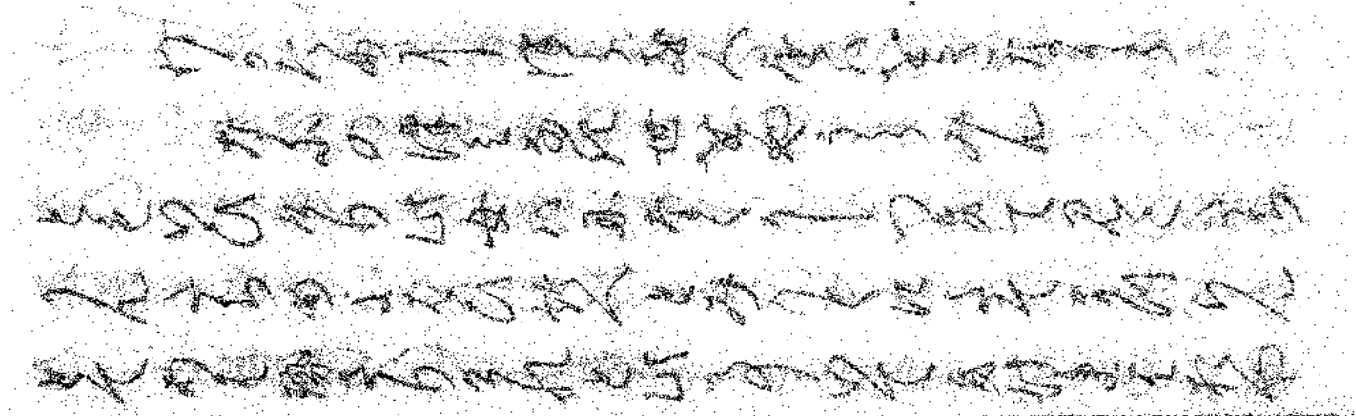
と書けり。②いとあやしく誰しておこせつらんとおもひをり。ちて氷べきだまりにおほえず、いとあやしかりければ、またひとりまどひ来にけり。かくて又山にいらにけり。までおこせたりける。

からくしておもひわする、恋しきをうたてなきつる鶯の古

かへし

Aまでも君わすれけりかし鶯のなく折のみやおもひいづべき

となむいけりける。又、浄蔵大徳



(二天和物語)

問一 傍線部①について、誰がなぜ鞍馬に籠もつたのか、説明しなさい。

問二 傍線部②の内容を、誰の、どのような行動が分かるように説明しなさい。

問三 Aの和歌を現代語訳しなさい。その際、鶯が何を暗示しているかを明確にすること。

問四 画像になっている五行分を正確に翻刻しなさい。

二 次の文章は、芳賀栄一、杉谷代水編『作文講義及び文題』(一九二二(明治四五)年刊)の第十四講「国文の沿革」の、明治時代の文章について述べた部分です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙二枚を用い、縦書きにすること)

明治の初年に政綱を取ったのは薩長その他の武士で、彼等は国文よりも漢文の教育を主として受けた人間だけに、初めから漢文または(漢文を)翻訳した文體が格式ある幕府の公用文章に代えられ、勅諭でも法律でも命令でも皆漢文直訳體の文章をもって綴られ、臣民の建白請願も政界上の論文も皆この體を用いた。また、この頃創設された新聞紙も、法令布告の懸紙や政界上の評論が主であつたので、その記者も今日のいわゆる西派が主で、漢文素養の人々のみであつた。(中略)

この間に立つて仲間外れのごとく、また一人通俗體を用い、平明易解をもつてどこまでも讀まれたのは流石は通俗論議である。しかも、この仲間外れの文章が実は国文の正體で、漢文直訳體こそ、時の間に合はざる寄生的文章に過ぎなかつたのである。今日讀み直してみても類例の文章だけは底意が、その他の連中のは皆腐世の感がある。それから明治十五五年頃までは、民権自由とか民選議員となすべて政論中心の世の中で、文章も相変わらずの漢文直訳體、それから一転するに及んだが、この調子の文章はその後でもなお残つて、『雜報叢書』(住友大倉選)などという政治小説や、また一般の新聞論議にその余波をとどめた。

漢文直訳の文章が何時いかなる漸進で今日のような時文になつたかといふことは一日には語られる。自然の勢で、その種の文章が我れからだんだん国語に接近したのが一つ、明治の新文字の勃興したのが一つ、古文字復讐の影響が、つ、これらが一途になつておおいに標準的時文ができたのである。

このうち新文字の勃興といふのは新小説の勃興のことで、明治十八九年頃に出た春の屋主人(坪内逍遙氏)の『小説神髓』及び『当世書生氣質』がその嚆矢であつた。氏はその論と作とによつて、旧式の勸懲小説や伝言小説を排して写実主義を標榜したのであつたが、その文體においても旧式から脱却して新しい一體を創つた。それは『小説神髓』の文章を一見しても容易にわかる。(中略)

さて、また古文字の復讐運動には井上毅氏が嚆矢となつた。これは維新の勳臣で四十年前開墾されてきた島根國を古文字の研究によつて復興しようとした運動で、時あたかも、外國文物の輸入が神學哲學やキリスト教や社会主義の類にまで及び、その利弊も日に見えて、國民的自覚がそろそろ起ころうかけた時であつたので、たまたま非常な勢いをもつて成功し、國學者の言論(主に文學上法上)が傾倒せられ、國文國歌の書物が蓬んに翻刻せられ、文法書類が先を争つて文壇に迎へられた。その結果、一般の讀者に文法の必ずなるべきも亦なることを真面目に覺らせ、また古文字の標準的作物に接せしめて雅語古語の用法を正式に教えたことになつた。そして和漢洋三文の調和の中でも國文をもつて主とせねばならぬといふことも十分台座させた。新しい時文の標準がここに始めて立つた。作物の方では春の屋主人の外に、葉野隱溪、犀崎紅葉、山田美妙、川上眉山、幸田露伴等の作家が輩出して、小説は一時に新しくなつた。こうして、この新小説の勃興がまた知らずもここに一つの新しい文章を生んだ。言文一致ならぬ国語文がそれである。

言文一致の創唱は山田美妙氏と伝えられ、また實際言文一致の小説を第一に公にしたのは美妙であるが、將來の小説を言文一致と見做つてその試作にとりかかつた最初の作家は長谷川一磨である。ともかくもこの言文一致が文壇に非常な刺激を与へた、驚かされたり、珍しがられたり、笑われたり、考へられたり、いろいろしたが、結局小説界に根をおろして、あらちちから勢いのいい新芽が出た。當時あたかも大学の外山博士等の區に(國字を)ローマ字に改めようといふ七書をあげたので、このローマ字論者が突然三文一致の旗幟を掲げることになり、小説以外の普通文にまでも三文一致の試みは、それがまた漸次に行われた。第四講に述べたごとく、正来どこの國の文藝でも言文一致といふわけはない。日本でも古代は皆言文一致であつた。『古事記』でも『源氏物語』でも三文一致の試みはあつたものだが、源氏時代の頃から文章と言語とが、つづつに変遷して、兩者の距離がだんだん大きくなつたのである。

③室町時代の末期、親山の徳田の書いた薩長被擧の証據書や、徳川時代の問答書(一説は『物語』)『文政正時の綱目』『伊賀屋物語』などには口語文が用いてある。中には『伊賀屋物語』のこときは、立派な口語文である。紅葉山人は「……である」という終止法を始め、句尾の省略法などに非常な苦心をしたといふことであるが、その時早くこの伊賀屋の綱目を見たならば、それほど苦心の上で苦労に工夫がついたろうと思はれる。この言文一致の試みが徳川時代になつてまで産産しなかつたか突に惜しいことであるが、實際それらの口語文は今でも非常に目につくもの、当時ではごく一般に讀まれたものゆゑ、一般の文章に影響するだけの力はなかつたのである。

④徳川時代に至つても諸君の御講義や、心算道話や、鶴口噺などに、口語體が豊富にあられたものである。有名な『鶴口噺』は柴田鶴翁の心算講を息子が筆記したそのままの形で出版したのであるが、文章として実に立派な口語文である。こういう風で言と文とを一つに引き寄せる試みは、通俗という目的をもつて折々試みられたが、明治に入つてそれが始めてあらゆる文体上の理想として解され実行せられたので、これも旧制打破、百慮更始の一つ、文章上の王政復古とでもいおうが、日本の歴史中王政時代はいつも言文一致で、武家時代の間は言文二途で、また明治になつて言文二途になるとは何かの因縁かも知れぬ。

(三枚目、五枚目)

- 問一 傍線部①で書かれている「漢文活訳体」、あるいは「漢文翻讀体」の、日本語における位置づけについて、知らるところを述べなさい。
- 問二 傍線部②で書かれている「西字をローマ字に改めようとする主張」について、それが何故「漢語に文二級に属せざるべし」となるのかを含めて、知らるところを述べなさい。
- 問三 傍線部③及び④で書かれる文献について、またそれぞれの文献で使われている文章について、知らるところを述べなさい。

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース （基盤日本語学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目/2枚中）

[1] 次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Clark, H. H. (1996). *Using Language*. Cambridge: Cambridge University Press, 3頁1行～4頁17行.

(2枚目/2枚中)

問1 下線部 (a) “ (3頁1行、Language で始まる文) ”とはどういうことか、本文に即して説明しなさい。

問2 下線部 (b) “ (3頁12行、A joint action で始まる文) ”を日本語に訳しなさい。

問3 下線部 (c) “ (4頁9行、We cannot hope で始まる文) ”について、具体例をあげながらあなた自身の考えを自由に述べなさい。

[2] 次の12項目のなかから5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

- (1) 使用語彙
- (2) 類義語
- (3) 格関係
- (4) メタファー
- (5) 比較言語学と対照言語学
- (6) 条件異音
- (7) 新村出
- (8) 国語審議会
- (9) ウチナーヤマトウグチ
- (10) 中間言語
- (11) 相手に合わせた発話デザイン
- (12) 情緒スタンス

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

令和5(2023)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻 基礎日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程/一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題

芸術学専攻 アート・メディア論コース 筆記試験

〔問題用紙は3枚です。〕

(1枚H/3枚中)

問1 次に挙げる12の用語もしくは画有名の内から自由に5つを選び、それぞれ5行程度で説明しなさい。

- 1) フランク・ロイド・ライト 2) 看板建築 3) キネトスコープ 4) JASRAC
5) ジョークフリート・クラカウアー 6) VHD 7) 少女歌劇 8) 宝塚歌劇団 男子
9) Art Nouveau 10) Robert Capa 11) フィジカル・シアター 12) ドラマツルギー

問2 次に挙げる6つの設問の内から自由に2つを選び、解答しなさい。

1) 別紙1の建物は、1926年竣工の大同生命肥後橋ビル(設計:ヴォーリス建築事務所/用途:事務所)である。同建築が1990年に解体された跡地に建設され、1993年に竣工したのが、別紙2の大同生命大阪本社ビルである(設計:日建設計・一統社ヴォーリス建築事務所/用途:事務所)。施主は共に大同生命保険。

次の①～③の問いに答えなさい。

①別紙1の建築様式やデザインの特徴について説明をしなさい。

②歴史的様式をまとった戦前のオフィスビルの建て替え・増築におけるデザインの継承、の観点から、別紙2の建物について考察を加えなさい。

③歴史的様式をまとった戦前のオフィスビルの建て替え・増築に際して、別紙2とは異なるアプローチを試みた事例を1つ以上挙げ、②の回答と比較しながら分析し、今後の建築保存の在り方についてのあなたの考えを述べなさい。

2) 1920年代末から30年代にかけて、サイレント映画がトーキー映画へと移行していくなかで、どのような映像と音の結合の実践が見られましたか。具体的な作品の例を挙げて、論じてください。

3) 録音再生技術の文化的な意義を、具体例を挙げながら論じなさい。

4) レビューの成立に重要な要件をなすと考えられる技術例を挙げ、理由を述べなさい。技術は一つでも複数でもよい。

5) 美術作品の大規模な移動にはどのような要因が関わるか。複数の要因を具体的な例を挙げながら論じてください。

6) 現代日本を含むアジアの演劇興行の形態には、西欧演劇のそれと異なるところが見て取れます。それらの点について、具体的に事例をあげながら説明しなさい。

(2枚目/3枚中)

(別紙1)

画像は、著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

大河生命肥後橋ビル

画像出典：https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/a/a6/Daido_seimei_higobashi_building.jpeg

(3 枚目/3 枚中)

(別紙 2)

画像は、著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

大同生命大阪本社ビル

図版出典：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A1%A7%E5%90%8C%E7%94%9F%E5%91%B3%E5%9A%A7%E9%98%A4%E7%A6%BE%E3%83%A1%E3%83%95>
%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%A8:Deido Life Osaka Head Office Building, Osaka (Jan 2020). jpg

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻 美学・文芸学コース（美学受験分野）筆記試験

[問題用紙は2枚です]

（1枚目/2枚中）

すべて日本語で解答しなさい。

解答の文字数は問いません。

長文になるときは段落ごとに内容を整理すること。

- 問1 次の9つの語のうち2つの語を選んで、それぞれについて、その語の意味を確認したうえで、その語によって何が問題になってきたか、何が問題となりうるのかについて論じなさい。
(25×2=50点)

付随美	模倣	創造
作品	意図	趣味
美的経験	批評	解釈

- 問2 別紙1の文章において著者は「美的質」の分類を試みています。著者の分類について説明したうえで、この分類に対するあなたの考えを述べなさい。出典は Göran Hermerén, *The Nature of Aesthetic Qualities* (Lund University Press, 1988), p.106, l.4 – p.107, l.2. (25点)

別紙1の問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

- 問3 一般には芸術とみなされていない特定の対象の「美的質」について論じなさい。その対象は、人間の行為でも、出来事でもかまいませんが、論述にあたっては以下のポイントについて順序よく説明すること。① どのような対象に注目するか ② なぜそれに注目するか ③ その対象について「美的質」をどう考えたらいいか ④ その対象の「美的質」はどのような語によって記述されるか ⑤ その対象の「美的質」はどのように評価されるか ⑥ その対象の「美的質」を評価するにあたってどんな問題が起こりうるか。(25点)

(2枚目/2枚中)

別紙1
掲載省略

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース （音楽学受験分野） 筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 次の文章を日本語訳しなさい。[配点30点]（出典 Michael Christoforidis, *Manuel de Falla and Visions of Spanish Music*, Routledge, 2018, p.103, 1.1-14)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

(2 枚目/3 枚中)

問2 次の文章を読んで、その内容を日本語で要約したうえで、音楽に関する産業的区分と学術研究の関係について、あなたの研究対象とも関連させながら論じなさい。【配点 35 点】（出典 Karl Hagstrom Miller, *Segregating Sound: Inventing Folk and Pop Music in the Age of Jim Crow*, Duke University Press, 2010, p.177, L33-p.178, L27）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

(3 校目/3 枚中)

問3 次の文章を、学術的な概念を用いて日本語で要約し、あなたの研究対象とも関連させながら、あなたの考えを述べなさい。[配点35点] (出典 町田康『私の文学史：なぜ俺はこんな人間になったのか』NBK出版新書、2022年、p.41、kindle電子書籍版位置525-537)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（演劇学受験分野）筆記試験
〔問題用紙は3枚です。〕
（1枚目/3枚中）

問1 以下の6つの語すべてについて、それぞれ100字程度で説明しなさい。

- (1) Antonin Artaud (2) 『三人姉妹』 (3) フィジカル・シアター
(4) 踊念仏 (5) (舞台機構の) すっぽん (6) 修羅能

問2 選択問題です。近現代演劇研究志望者は設問1、伝統演劇（芸能史）研究志望者は設問2を選んで解答してください。

設問1) 別紙1は、Oscar G. Brockett & Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Tenth Edition, Allyn and Bacon, 2008, p.395の一部です。これを読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

- (1) 下線部(A)はどのようなものですか。説明しなさい。
(2) Adolf Appiaの考え方について、下線部(B)に3点指摘されています。それぞれどのようなものですか。それぞれについて説明しなさい。
(3) Adolf Appiaの理念はどのような形で実現されるのか、20世紀全体を通して、演劇史的に説明しなさい。
(4) 英文(C)の部分を日本語に訳しなさい。

設問2) 別紙2は、西堂行人『日本演劇思想史講義』（論創社、2020年、2～5頁）の一部です。これを読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

- (1) 傍線部(A)「日本の中に様式として確立していこうとした」とありますが、この事例にあてはまると、あなたが考える日本の伝統演劇の作品をあげ、どのような文化を、どのように当てはめたのか、説明しなさい。
(2) 傍線部(B)「ところが日本は、このやり方を取りませんでした」とありますが、では日本の演劇はどのようなやり方を取ったのか。文章に即して、説明しなさい。
(3) 傍線部(C)について、では西洋演劇はどのような特徴があるのか。文章に即して、説明しなさい。
(4) この文章の内容に関して、自由に評してください。

問3 演劇におけるリアリティとは何か？演劇学上の議論を適宜参照しつつ、あなた自身の考え方を述べなさい。

(2枚目/3枚中)

別紙1

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Oscar G. Brockett & Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Tenth Edition, Allyn and Bacon, 2008,
p.395,L,1.8-1.49

(3枚目/3枚中)

別紙2

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
西堂行人『日本演劇思想史講義』（論創社、2020年、2頁1行目～5頁9行目）

令和5（2023）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

日本東洋美術史・西洋美術史コース（日本東洋美術史受験分野）筆記試験

〔問題用紙は4枚です。〕

問1 以下の用語のうち4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

〔配点20点〕

- 1) フランシス・ピカピア
- 2) オリエンタリズム
- 3) フィレンツェ、サンタ・マリア・ノヴェツラ聖堂
- 4) 浄土寺浄土堂
- 5) 楽茶碗
- 6) 与謝蕪村

問2 別紙1の問題に答えなさい。〔配点28点〕

問3 別紙2は伝藤原行成筆「粘葉本和漢朗詠集」（平安時代11世紀 宮内庁三の丸尚蔵館）の朗詠題「納涼」の一部です。和歌二首を翻刻しなさい。

〔配点12点〕

問4 別紙3は「日月四季山水図屏風」（室町時代、六曲一双、金剛寺蔵）です。図様を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの作品の魅力について述べなさい。〔配点40点〕

江戸時代の儒学者・画家の祇園南海（一六七六～一七五二）の詩文集『湘雲瓊語』巻之下所載の次の文について設問に答えなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

語注 蘭亭序図・中国東晋時代の王羲之「蘭亭集序」を題材とする絵画。四十二人の高士が侍童を従え曲水宴に興じる様子を、深山から池畔の小亭までの流水に沿って表す。

姑……………しばらく。

槩……………概に同じ。

右軍……………右軍将軍であった王羲之のこと。

案……………机。

東床坦腹・ある武人が婿選びに来た際、王羲之は東の床で腹を出して横になっただけのまま食事をしていて、その変人ぶりによって選ばれたという故事。

板……………平板。

設問一 冒頭から七行目「四圍茂林脩竹圍之」までを書き下し文にしなさい。

設問二 南海は「蘭亭序図」をどのように改変すべきと述べているかを簡潔に説明しなさい。

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

4 枚目/4 枚中

令和5（2023）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 日本東洋美術史・西洋美術史コース（西洋美術史受験分野） 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目／3枚中）

問1 以下の用語の内4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

1) 浄土寺浄土堂

2) 楽茶碗

3) 与謝蕪村

4) フランシス・ピカビア 5) オリエンタリズム 6) フィレンツェ、サンタ・マリア・ノヴェッラ聖堂

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。（註番号、図版番号は無視してください）

* 出典：Emma Barker ed. *Art, Commerce and Colonialism 1600-1800*. Manchester University Press, 2017: p.19,
L. 1. 3 - R. 1. 5.

問3 別紙の絵画についてその制作地、制作時期、作者を推測し、その推測の根拠を詳細に述べてください。

(2枚目／3枚中)

著作権に配慮して省略します。

(3枚目 / 3枚中)

著作権に配慮して省略します。

出題作品データ

Jan Matejko

Astronomer Copernicus, or Conversations with God 1872

Jagiellonian University Museum